



議会だより



「第64回 磐梯まつり！」



町の花「サギソウ」今が見頃です

平成24年6月定例会

- ◆あらまし・議案審議 2～3
- ◆予算委員会質疑応答
特別委員会の設置 4
- ◆あなたの声を審議しました 5
- ◆一般質問 8人が登壇 6～13
- ◆議員提出議案・委員会レポート .. 14～15
- ◆町民の声 16

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100番地

<http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

県南・会津・南会津地域給付金事業費交付金に11億1676万円!!

あらまし

6月定例会は4日から13日まで開催され、町長から提出された条例案件3件、計画変更案件1件、規約変更案件1件、補正予算2件、専決処分の承認案件9件、専決処分の報告、第3セクターの経営状況報告案件9件、契約締結案件1件など26件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。一般質問は8人の議員により2日間にわたり行われました。また、議員提出議案2件を審議し、1件については可決、1件については否決となりました。

議案

(条例)

- 国民健康保険税条例の一部改正
本年度の国民健康保険事業に要する税財源を確保するために税率等を改正
- 印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部改正
外国人住民が住民基本台帳法の適用対象となるため必要な条例の改正
- 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第十条第一項の規定に基づく準則を定める条例

主な質疑

専決処分の承認を求めることについて

○体育施設費の補正額 490万円

【問】全天候型の改修工事の委託料とあるが、工事業者の入札も終わっており、前に予算措置が出来なかったのか。また、議会に諮らなかったのはなぜか。

【答】本業務は専門性が高く、委託先の選定に時間がかかりこのたび委託の運びと成り予算計上となった。工期が9月中ということで時間的に余裕が無かったので専決とさせていただいた。

○除雪中の物損事故

【問】臨時雇用の除雪運転手一人での作業か。

【答】通常は2人体制で除雪作業にあたっている。当時は1人であった。

○猪苗代町病院事業会計予算の繰越

【問】発注特殊構造物が納期遅延により、工期延長となったとあるがその構造物とはどんなものか。

【答】貯水槽を上下からマス状の物を重ねていくもの。一時、工

工場の増設や設備投資を促すため、工場立地法の特例措置で定められている緑地面積率及び環境施設面積率を緩和するため条例を制定

(主な補正内容)

- 総務費 県南・会津・南会津地域給付事業費
事務経費及び交付金 11億3670万6千円増額
- 衛生費 じん芥処理費
震災がれき等の災害廃棄物の数量増加による、廃棄物処分にかかる委託料 575万5千円増額
- 教育費 体育施設費
陸上競技場のトイレ及び備品保管用倉庫の設置工事にかかる工事請負費及び建築申請等にかかる委託料等 5897万1千円増額

(工事請負契約)

○猪苗代町運動公園陸上競技場全天候型改修工事請負契約
利用者へ競技に適した環境を提供するとともに、東日本大震災の影響により減少した町内への誘客の増加を図るため、運動公園陸上競技場を整備する工事請負契約

2億6040万円
(財源・過疎債)

報告

○自動車物損事故による損害賠償及び和解
除雪車が後退し、停車中の車両に損傷を与えた事件

○繰越明許費の繰越

- ・23年度の予算を24年度へ繰越(1億5995万4千円の繰越)
- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・街路事業
- ・都市公園整備事業
- ・町営住宅建設事業
- ・消防団安全対策設備整備事業
- ・公園施設災害復旧事業
- ・23年発生公園施設災害復旧事業
- ・農地農業用施設災害復旧事業

○事故繰越

災害復旧事業の優先的施行に伴い資材の調達が困難となった

ことから24年度に繰越
(1300万円の繰越)

- ・道路新設改良事業

○病院事業会計予算繰越

発注特殊構造物が原子力災害の影響により納期遅延となり、工期延長の必要が生じたことから24年度に繰越

- ・猪苗代病院貯留施設整備事業

○町出資第3セクターの経営状況

- ・会津若松地方土地開発公社
- ・(財)猪苗代町振興公社
- ・猪苗代地域開発(株)
- ・表磐梯高原開発(株)
- ・(株)まちづくり猪苗代

承認

○予算の専決処分

- 一般会計
※年度末に確定した国からの交付金の専決処分
1億1055万9千円増額
- 介護保険特別会計
2308万6千円減額
- 下水道事業特別会計
130万5千円減額
- 特定環境保全下水道事業特別会計
138万1千円減額
- 農業集落排水事業特別会計
413万9千円減額
- 簡易水道事業特別会計
1980万円減額

専門家との協議がでてくる。地元の種類団体とも協議しながら進めたい。

○猪苗代町過疎地域自立促進計画の一部変更について

【問】生涯スポーツを追加した見直しの理由は何か。

【答】過疎債の発行がメリットであり、教育の振興の中に集会施設、体育施設を加えたのは、過疎計画に記載していないものには過疎債が発行できない

ということからである。

【問】今後大きく施設等が改善されると思うが、問題はソフト面である。子どもや指導者も少ない中で、内部的なスポーツ団体が競合しており、それらの整備が必要ではないか。

【答】組織を統合するなど、全体を見通した中で、連絡会等を行い、無駄を省いていきたい。団体がうまく融合していくような、組織化も今後検討していきたい。

【議案内容と可決状況】

	件名	可決状況
専決処分 (予算7件 条例2件)	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度猪苗代町一般会計補正予算(第10号))	賛成全員
	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度猪苗代町介護保険特別会計補正予算(第4号))	賛成全員
	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度猪苗代町下水道事業特別会計補正予算(第6号))	賛成全員
	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度猪苗代町特定環境保全下水道事業特別会計補正予算(第6号))	賛成全員
	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度猪苗代町農業集落排水事業特別会計補正予算(第6号))	賛成全員
	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度猪苗代町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号))	賛成全員
	専決処分の承認を求めることについて(猪苗代町税条例の一部を改正する条例)	賛成全員
	専決処分の承認を求めることについて(猪苗代町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	賛成全員
議案	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度猪苗代町一般会計補正予算(第1号))	賛成全員
	平成24年度猪苗代町一般会計補正予算(第2号)	賛成全員
	平成24年度猪苗代町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	賛成全員
	猪苗代町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	賛成全員
	猪苗代町印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例	賛成全員
	猪苗代町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第十条第一項の規定に基づく準則を定める条例	賛成全員
	猪苗代町過疎自立促進計画の一部変更について	賛成全員
	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	賛成全員
	猪苗代町運動公園陸上競技場全天候型改修工事請負契約の締結について	賛成多数

一般会計

歳出

《総務費》

【県南・会津・南会津給付金事業費】

【問】 交付金は何人分をみているのか。

【答】 今回の給付金事業の対象ですが、町内に平成23年3月11日に生活の拠点があると思われる者、1万6131名を見込んでいる。総額11億1676万円である。

《土木費》

【道路新設改良費】

【問】 道路新設改良費の説明の中で委託料ということで、大在家中線という説明があったが、委託料しかあがっていないが、今年度事業ということとは考えていないのか。

【答】 今回補正した委託料は、本年度は測量設計の委託料のみと考えている。

【問】 今回補正し測量だけやり、来年度道路の改良をやるということでは、今回補正までして次年度事業に対応する必要性が感じられない。その辺の事情についてどういふことなのか。

【答】 当初計上している委託料は、2路線程の測量設計の委託料を計上している。今回、200万円の委託料の補正をしたのは、町道であるし、事業の必要性が早急な整備が必要であるという判断のもとあげさせていただいた。

【問】 必要性があるので測量設計をすぐやるということであれば、極力本年度中に事業を行う形に進めていくのが当然と思うがいかがか。

【答】 これから委託を発注し、秋に現地調査なり説明をしなければならぬというところもあり、本年度中は測量設計のみということで、段階を踏んで次年度に補償なり、売買の手続きをとらせていただきたい。

特別委員会が設置されました

6月定例会において、2つの特別委員会が設置されました。任期は平成25年12月定例会までです。

災害復興と防災対策に関する調査特別委員会

現在も続く各種の被害への対策と復興を検討すると共に、これまで取り組んできた各種の防災対策について、これらの経験を踏まえた視点での検討が必要であり、調査を行うため委員会を設置します。

《委員長 穴 沢 進
副委員長 長 澤 操
委員 細 貝 功 人
佐 藤 英一郎
五十嵐 ミエ子
佐 藤 光 幸
長 沼 一 夫
鈴 木 武 喜

再生可能エネルギーによる地域活性化調査特別委員会

再生可能エネルギーの設備を、町内に設置することで地域経済の活性化に寄与すると共に、町内で利用できるよう、調査を行うため委員会を設置します。

《委員長 渡 辺 真一郎
副委員長 金 本 久美子
委員 佐 瀬 真
佐 藤 悦 夫
後 藤 公 男
山 田 長 平
関 沢 和 人
渡 部 博 幸

あなたの声を審議しました!!

6月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。
付託委員会は全件経済建設常任委員会です。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	審議結果
請願 (継続)	町道役場前新町線旧々役場脇の簡易舗装に関する請願 新町イ区長 浅 井 甚一郎	渡 辺 真一郎	不採択
請 願	町道川上千貫線の除雪作業に関する請願 千貫区長 渡 部 勉	渡 辺 真一郎	採択
	町道川上千貫線の舗装工事に関する請願 千貫区長 渡 部 勉	渡 辺 真一郎	採択
	町道編入に関する請願 スタック株式会社 小 林 央 生	渡 辺 真一郎	不採択
	農道舗装に関する請願 小水沢区長 渡 部 淳 夫	金 本 久美子	採択
陳 情	町道舗装等に関する陳情 相名目区長 古 川 昭 一		採択
	民地に隣接する町管理の水路に関する陳情 西久保区長 木 村 和 則		採択
	町道西久保法正尻線改修工事に関する陳情 西久保区長 木 村 和 則		採択
	町道金曲新堀向線の中目、西館間の道路舗装の陳情 中目区長 小 松 山 進		採択
	町道都沢線の側溝改修に関する陳情 都沢区長 佐 藤 新左エ門		採択
	町道都沢線横断暗渠埋砂除去に関する陳情 都沢区長 佐 藤 新左エ門		採択
	河川（大深沢川）堆砂除去に関する陳情 都沢区長 佐 藤 新左エ門		採択
	町道押立線U字溝の設置について 翁島地区区長会長 高橋 謙一 他3名		採択
	町道翁島駅前翁小分校前線U字溝の設置について 翁島駅前区長 本 間 輝 義		採択
	町道翁島駅前翁小分校前線の舗装改修工事について 翁島駅前区長 本 間 輝 義		採択
	町道翁島駅前線の舗装改修工事について 翁島駅前区長 本 間 輝 義		採択
	町道翁島駅前住宅線U字溝の設置について 翁島駅前区長 本 間 輝 義		採択

不採択の主な理由

「町道役場前新町線旧々役場脇の簡易舗装に関する請願」について

道幅が狭く塀など危険な箇所があり、通学路に指定されていない。現況のままでは舗装するのは困難である。

「町道編入に関する請願」について

現況の道路では町道編入後、補修等管理のための費用負担が大きく、明確な行政区が形成されていない現状では編入は困難である。

不採択に対する反対討論が行われました

五十嵐 ミエ子議員

反対

「町道役場前新町線旧々役場脇の簡易舗装に関する請願」について

住民からの要望は取り上げるべきと考える。

「町道編入に関する請願」について

放射能の関係で被災者の方が多くいられる中で、定住者を増やすためにも町でいろいろなことを考えて継続審査とすべきである。



渡辺 真一郎 議員

Q. 福島復興特別措置法をどう活かすか。

A. 有効と判断すれば課税の特例を県に申し入れる。

福島復興特別措置法を
どう活かすか

【渡辺】法人税、固定資産税の免税特区にするという様なことを強く県に要望しないと国は動かないのでは。

【答弁】地域経済回復に課税の特例が有効と判断されれば強く県に申し入れていく。

【渡辺】復興交付金の例でみると、国に対する県のアピールは弱いのでは。

【答弁】福島復興特別措置法を期待して県は積極的な国への要請を行わなかったのではないかと思います。

【渡辺】町の県への要望内容は。

【答弁】県への要望内容は秋の特別交付税の交付によって判断する。金額は後日示すが十分な金額が交付される見込みである。

町民アンケートの
処理について

【渡辺】来庁者のアンケート件数は。

【答弁】21年度～23年度で15件～30件。

減少傾向にある。

【渡辺】アンケートの内容及び対処はどのようなか。

【答弁】職員の服装や窓口対応、言動への指摘が主。指摘内容は全課長に示し全職員に周知している。予算の確保が必要なものは直ぐに対応できなかった。

職員の担当部署と
本庁内での対応

【渡辺】各課のカウンター、庁舎の入口に職員の配置図、担当部署を明示すべきだ。

【答弁】百七十人の職員がおり、業務も多種にわたり、担当業務を掲示するのは難しい。

【渡辺】カウンターより離れた場所に職員の机があり、職員が直ぐに対応しない課が多い。カウンターの近くに机を置くべきでは。

【答弁】来庁者に不快感を与えないよう対応することを周知徹底する。職

員配置や役割分担が可能な部署については検討する。

【渡辺】人事異動後二カ月経過しても対応に問題のある職員がいるが。

【答弁】概ね一週間で事務引継ぎを異動の指示をしているがサイクルの長い業務については困難である。

【渡辺】電話の応対で部署のみで名前を言わない職員がいるが。

【答弁】部署名、名前を名乗るよう改めて指導する。



来庁者アンケート（庁舎玄関前）



二丁田町営住宅

伝統的お祭りに対する
町の取り組みについて

【金本】町民の心に残るような整梯祭りの実現に向け町はどう取り組むのか、町長の見解は。

【答弁】郷土の歴史、風土、文化を再発見し、後世に正しく継承する伝統行事として再確認しております。政治の具とせず行政と町民が一体となつて取り組んでまいります。

【金本】おシンの嫁入りについて、中止になった事情と経過について伺う。

【答弁】大変残念なことですが「おシンのさんの嫁入り保存会」の解散により事業が中止となりました。事業実施前段の経費は、現在補助金の申請はされていません。今後は関係者と協議し再び事業が開催できるか検討していきたい。

金本 久美子 議員

Q. 町営住宅の長期計画について。

A. 公営住宅等長期寿命化計画を25年度に作成する。

町営住宅の長期計画について

【金本】二丁田は平成26年、沼田は27年に用途廃止となっているが、5年ごとの定期見直しはどうなっているのか。

【答弁】本計画策定後には、桜ヶ丘団地10棟90戸が完成し、さらに独立行政法人雇用・能力開発機構から旧雇用促進住宅2棟60戸を取得し、川桁団地及び定住化促進住宅として整備してまいりました。この頃が計画内容を見直す時期でした。制度が改定になったことを契機に「公営住宅等長期寿命化計画」を25年度をめどに作成し、町営住宅の整備及び適切な維持管理に努めてまいります。

【金本】計画的に適正な修繕を行うことについて年次計画は立てているのか。改善状況は。

【答弁】平成20年度から22年度に、上ノ上団地8棟の断熱工事を実施し、雇用促進住宅の修繕工事も22年度に実施しております。管理人さんと入居者の方に通知を差し上げ一斉修繕の要望を取りまとめ費用の負担区分もあるので、入居者の意見もいただきながら実施しているところです。

【金本】民間活力の導入も考慮し情報の一元化についての状況は。

【答弁】広報誌やホームページで情報発信し民間不動産情報の一覧表を提供しています。



町運動公園の整備管理運営状況は

【佐藤】全天候型トラック等の工事の進捗状況は。

【答弁】6月上旬から9月30日の4ヶ月間を予定し、町民運動会は10月14日に予定している。

【佐藤】冬期間の管理は大丈夫か。また、どのような方策を考えているのか。

【答弁】雪による影響は少ないと思うが凍結による影響が心配である。対策として路盤の下に凍み上がりを防ぐ盤を施行し万全を期したい。

【佐藤】施設利用件数を増やすための具体的な計画は。

【答弁】本町は夏場のスポーツ合宿に適している地域であり各種スポーツイベントを積極的に開催し利用を増やしていきたい。

【佐藤】約4億円の設備になるが、水害等の心配はないのか。

【答弁】浸水のリスクはある。昭和56年度の大水で浸水した経過はあるが近年は下流域の堤防護岸の強化や浚渫沈床工事も強化され浸水のリスクも少ないと考える。

町図書建設計画について

【佐藤】蔵書量及び内容基準はどのように設けているのか。

【答弁】図書利用の特色を考慮し分類しており、文科省の「公立図書館の設置及び望ましい基準について」の人口に基づき5万冊の蔵書を目指す。

【佐藤】貸し出し利用状況と推移は。

【答弁】年々増加傾向にあり一般の方々と親子連れの利用が多く、夏休み期間は、子どもたちの利用も増える傾向にある。

【佐藤】各小中学校の蔵書との一元化や共有化の可能性は。

【答弁】難しいところもあるが、今後連携を図りながら共有化を検討してまいりたい。

道の駅猪苗代基本構想について

【佐藤】今回発表された位置は、ベストな選択か。妥協の結果ではないのか。

【答弁】季節風も強くお墓もある。今後用地の確保や農振農用地の除外申請等の許可、道路管理者や公安



田植えを終えた田園に映る磐梯山

委員会等との協議を行い、具体的な場所が確定することとなる。

【佐藤】道の駅ありきの発想から始まっている理由が後付けではないのか。

【答弁】農業と観光の町として振興を図ってきた。唐突ではなく必要があれば最小限で進めて行きたい。

【佐藤】道の駅をつくるだけで観光客が増加すると見込まれているのか。

【答弁】道の駅を作っただけで観光客が増えるとは思っていない。

【佐藤】道の駅を作るといことは、既存の民間業者の営業妨害では。

【答弁】民営圧迫になることもあるので民間の方とお話し合いもしていかなければとも思っている。

長澤 操 議員

Q. 第6次猪苗代町振興計画について。前期5年間の点検の結果についての評価は。

A. 概ね順調に事務作業が進行していると判断される。

【長澤】少子化対策について。その対策が国・自治体問わず重要課題となっており、本町も総合的観点に立つた取組みが必要と思うが。

【答弁】少子化対策・定住化の促進は関連が多く、若者の定住化の促進に当たっては、企業誘致も重要であるが、本町が周辺都市への通勤圏内でもあり、定住地域として選定される様に少子化対策の充実を図りたい。

【長澤】学校教育充実の中で、猪苗代中学校の老朽化に伴い、今後の整備方針と中学校3校との関係を伺う。

【答弁】町のエデュ施設の適正配置については、平成20年に教育施設等検討委員会から、将来的に1校に統合するのが適当とする提言を頂いている。適正規模は、各学年4クラスで現在の全町生徒は456名で1校の適正規模である。猪中は、旧耐震基準で建築されており、今後想定される震度6強の地震では影響が懸念されることから、耐震補強も視野に委員会を再開し検討をしていく。

【長澤】生涯学習の中で、町民の興味・関心を高める上で文化的事業を多く取入れるべきと思うが。

【答弁】町内の文化団体で組織する「町体験交流協会」が文化団体とは別に町との協働事業・主催事業に精力的に取組んでいる。今後も町民の要望に応え、新たな事業を取り入れると共に各種団体への支援を強化し、町民の芸術文化の鑑賞や発表の機会を拡充して、文化の香り高いまちづくりを目指す。

【長澤】スポーツ振興宣言の町として、施設の有効利用の観点から町民に広く開放すべきと思うが、考えを伺う。

【答弁】合宿等の交流人口もあり、各種体育団体の施設を利用して活動をくりひろげている。利用料の部分については受益者負担にのっとって徴収となり負担にならない程度を考えている。合宿等の利用もありその点町民にご不便をかけるという事もあり調整会議等で対応をしたい。旧吾妻二小体育館は、当中ノ沢温泉旅館組合が維持管理を申し出て温泉体育館として現在に至っている。改修工事には莫大な経費がかかるため、解体も含め抜本的な検討が必要である。

【長澤】商業を育成強化し、楽しくふれあいのある町づくりを推進するた



猪苗代中学校

【その他の質問】農業の振興について高付加価値農業の推進について



五十嵐 ミエ子 議員

Q. 各家庭に防災個別受信機を設置すべきと思うが。

A. 過疎債の関係上いろいろあるので検討してまいりたい。

18歳までの医療費の無料化について

【五十嵐】18歳以下の医療費の無料化を町独自に先行して実施すべきと考えるが町の考えを問う。

【答弁】本町では0歳から15歳までの医療費扶助を実施しており、18歳以下の医療費の無料化を先行して実施するためには、扶助費に掛かる財源の確保が必要となりますので、福島県では小学4年生から18歳までの10月1日以降の診療に掛かる医療費助成事業を実施する事から町が先行実施することは考えておりません。

【五十嵐】小学4年生以上18歳までの医療費分の試算はどのようになっていくのか。町の持ち出し分が軽減されるのか伺う。

【答弁】試算につきましては、小学4年生以上18歳までが9学年となりますので、小学1年生から中学3年生までの9学年分と同額の年2、498万円程度になると考えております。また、持ち出し分については半年分で832万円程度が軽減されるものと考えております。

【五十嵐】軽減される部分を小児ワクチン接種に使ってはどうか。

【答弁】予防接種法に定めるワクチンの定期接種全ての費用を町が負担しております。「中学生以下の子ども及び妊婦に対する新型インフルエンザワクチン接種助成事業」を平成23年度から町の独自事業の任意接種として助成を継続実施し、1回につき2千円の補助をしております。

防災個別受信機設置について

【五十嵐】各家庭に設置すべきと考えるが町の考えを伺う。

【答弁】防災行政無線の基本は、屋外マスト拡声器による広報であり、個別受信機はその拡声器の伝達範囲から外れる世帯に対し設置しております。町民の生命・財産を守るためには予算を惜しんではなりません。出来れば皆様の少しの努力により、放送が鳴った窓を開けるなど、経費をかけずその効果が得られるので、ご理解をお願い致します。設置すべきと思います。過疎債の関係上いろいろあるので検討してまいりたい。



家庭用個別防災受信機

町立幼稚園に通う園児の無料化について

【五十嵐】子育てしやすい環境を整え人口減少対策のために取り組むべきと考えるが町の考えを伺う。

【答弁】保育料についてありますが、特定の行政サービスを受ける方と受けない方との公平性を保つため受益者負担として必要な事であり、多子世帯及び経済的に困難な世帯に対し、それぞれ規定を設けて、保育料の減免措置などの子育て支援を行っているところであり、無料化について今後とも検討を行っていきますが、現在のところ無料化の考えはありません。

佐瀬 真 議員



Q. 5月から始まった学校給食のスクリーニング検査の内容は。

A. 各学校毎に2品目選択して行う、今までは検出されていない。

【佐瀬】“アグリいな”で実施している持ち込み食材の放射能物質スクリーニング検査での問題点は何か。

【答弁】2月から県と国から3台貸与されて実施している、当初精度にばらつきがあったが今は解消されていて安定している。食材の検査では低い数値で測定する為には良く洗浄した食材で必要な量のみじん切りを持って来て頂きたいが内容に入は誤検知の原因になるので周知を心がけていきたい。

【佐瀬】現在行っている測定では測定下限値はどの程度まで計れるのか。

【答弁】測定下限値は良好な状態で測定時間三十分でセシウム合算で9ベクレル強までは計れる。

【佐瀬】今年度5月からの学校給食のスクリーニング検査はどの様な内容で行っているのか。

【答弁】各学校から食材2品目を選択して検査、検出された品目は使わない決まりになっている、幸いにも今までは検出されていない。

【佐瀬】検査の測定下限値は二十ベクレルだが子供達の安全、ご父兄の安

心を得るには現在の検査状況から下げた方が良くないか。

【答弁】ご父兄の安心の為にも最低下限値を低い値で示せるようにしたい

【佐瀬】未だに検査の結果が公表されないがこれからどうするのか。

【答弁】町のホームページ等へ掲載する最終的には各学校のホームページを整備して掲載していきたい。

当町だから考えられる“防染”

【佐瀬】農業用水を通して土砂と共に流れ込む放射能物質を水田に入り込む前に食い止める“防染”。この様な考えを持たなくて良いのか。

【答弁】県の実証実験でも除去効果の高いモミガラをフィルターに使うなど有効な対策を考えていきたい。

【佐瀬】放射能問題を引き起こした水利権を持っている東電へ猪苗代湖へ流れ込む河川の“防染”を水瓶にしている2市と協調して責務を果たす要求は出来ないのか。

【答弁】水利権者の立場に限れば東電に除染等の義務は生じないと考えられるので請求は考えていない。

まだ先が見えない地熱発電誘致

【佐瀬】その後の地元温泉関係者との摩擦について伺う。

【答弁】問題に保証が担保された場合には同意も考えられる等全てに反対では無いと云う意見も多数有る。

【佐瀬】当町の温泉源はヒ素混入の可能性が強い、万が一の想定も視野に考えなければいけないが。

【答弁】3町村で協議会に類する組織を設立して対応策を検討する。



「安全」「安心」学校給食を楽しむ子供達



細貝 功人 議員

Q. 職員から駐車料金を徴収することについて、いかがお考えか。

A. 駐車場確保は雇用者の責任であり、現時点では困難である。

町税等の減免制度について

【細貝】町税、使用料、負担金等の減免制度について伺う。また、近隣町村の減免制度について承知しているか伺う。

【答弁】税の減免については法律、条例で規定されている。昨年の被災や身体障害者に対する減免があり、近隣市町村と特殊に異なることはない。

【細貝】納期限の設定について伺う。条例により、年4回の納期限が通常と思いますが、納税者のニーズに合わせて納期を細分化し、納税者に選択させることが可能か伺う。

【答弁】本町の条例についても地方税法の規定を準用している。納税者に選択させるということが可能かどうかは、この場で明確な答えはできない。諸般の事情により、納入できない方については、分割納付も受けている。

【細貝】納税意欲の向上について伺う。町政だよりで広報しておりますが、

実感がないのが実態だと思います。広報の方法について再検討してみることがいかがか。

【答弁】表現的に適切なところがあればこれからも考えていきたい。

【細貝】滞納処分の現況について伺う。広域での滞納整理、近隣市町村との共同設置、話し合いの状況について伺う。

【答弁】独自性があるので町村ごとで対応することがよいと思う。21年度においては、協力を頂きながら徴収を行った実績があります。

【細貝】職員の駐車場の使用状況はどうなっているか伺う。

【答弁】庁舎北側四列分、旧保育所跡地、庁舎東側を使用しており、駐車台数は約二百台です。

【細貝】職員から駐車料金を徴収することについて伺う。

【答弁】庁舎建設時から職員専用の駐車場確保を念頭に整備を実施、駐車場の確保は雇用者の責任と考えており、使用料の徴収については、

法的整備が必要であり、現時点では困難であると思います。

人事異動について

【細貝】人事異動の基準について伺う。

【答弁】同じ部署に6年以上は在籍しないように配慮している。新任職員は2年から3年で異動の対象としている。管理職等については、適材適所を基本に5年程度の在職としている。

【細貝】昇任時の試験制度の実施について。

【答弁】業績を評価して適材適所に、やる気のある職員の登用、一生懸命に仕事を行う職員が報われるような昇任を考えている。本町のような職員数がそう多くない自治体では、日常業務の中での人事評価が適切に行われやすいため、昇任試験制度を導入していない。

災害対策について

【佐藤】東日本大震災後の、本町の対策と現状並びに課題について伺う。

【答弁】被害の全容を把握するのに時間を要した事、集落単位で避難された集会所等への支援が十分でなかった事、避難所での防寒対策や非常食の対応などが遅れた事などから年内中には災害初動マニュアルの見直しや、自主防災組織の育成強化、指定避難所の整備等を行う予定である。

【佐藤】時間外・夜間等の対策について伺う。

【答弁】時間外について地域防災計画の対応マニュアルにより、対策本部を作り対応することになっている。

【佐藤】他自治体との災害援助協定の現状について伺う。

【答弁】今後友好関係を結んでいる地方公共団体等と協定を考えていきたい。

【佐藤】教育施設（小・中学校）における対策と現状について伺う。

【答弁】各学校でその場に適した防災計画を策定し、各種災害などに対応した避難計画を立案している。今後は火山の噴火も想定に入れ町防

災計画と整合のとれた各施設の防災計画を策定し、防災訓練などを実施し安全の確保を図ってまいりたい。

【佐藤】教育施設（幼稚園・保育所）における対策と現状について伺う。

【答弁】日頃より避難訓練については、防災計画に定められた避難施設へ安全かつ迅速に移動できるように日常の保育の中で行っている。今後、連絡網の確保、避難の場所、ルートとのシミュレーションを検討する。

【佐藤】町立病院、特老・介護施設等における指導の現状について伺う。

【答弁】各々の施設では災害時行動マニュアルを基に定期的な避難訓練や防災訓練を実施している。関連施設のグループホーム3施設については年2回以上の訓練を実施、今後災害マニュアルの策定を予定している。

【佐藤】消防団の現状と課題について伺う。

【答弁】消防団員の多くは地区外・町外などに勤務している。今後その地区の役員や消防団員OBなどの地域を熟知している方々で組織されている自主防災組織は災害発生直

学習指導要領改訂に伴う本町の取組みについて

【佐藤】学習指導要領改訂に伴う本町の現状について伺う。

【答弁】今改正で強調された点は「生きる力」の育成であり、生きる力の前提条件の教育、指導を重視するよう努めております。本町の武道につきましては3校とも剣道を選択している。

【その他の質問】建築基準改正後の耐震対策の現状について



佐藤 英一郎 議員

Q. 災害対策の現状と課題について。

A. 自主防災組織の育成強化が急務。

議員提出議案

議案名

【大飯原発の再稼働中止と「原発ゼロ」を求める意見書の提出について】

提出者 五十嵐ミエ子

議員

賛成者

佐瀬 真

議員

賛成者

佐藤 悦夫

議員

賛成少数
否決

（趣旨説明）福島原発事故原因の究明が進まず、原子炉の実態すらわかっていません。こうした状況のもとでの再稼働は、福島県民を愚弄するものであり許せません。

議案名

【県立猪苗代高等学校への総合スポーツ学科新設を求める意見書の提出について】

提出者 佐藤 英一郎

議員

賛成者

関沢 和人

議員

賛成者

五十嵐ミエ子

議員

賛成多数
可決

（趣旨説明）スポーツで輝かしい実績を誇り、県内でも屈指の自然環境を持つ県立猪苗代高等学校に、未来の宝である子どもたちの多様な学習要望に応えるためにも、豊かな自然環境を活かした「総合スポーツ学科」を新設し、スポーツを通した豊かな人材の育成を図ることを要望する。

意見書の提出

7月17日、県庁へ出向き教育長と県知事に意見書を提出してきました。

経済建設常任委員会

道の駅整備検討の進捗状況

昨年11月7日、「道の駅」を建設するために、「（仮称）道の駅猪苗代整備検討委員会設置要綱」が制定され、学識経験者・商工団体・観光団体・農業団体・行政機関から委員の推薦を受け、4名の委員を公募し25名で委員会を立ち上げた。

委員会では、位置の選定、基本的な機能の構築について協議をし、3回目の検討委員会で国道115号線と磐越自動車道猪苗代磐梯高原インターの交差点を道の駅の候補地とすることに決定し、並行して策定を進めた基本構想についても承諾を受けた。

道の駅の基本構想においては、基本理念として「ひと・もの・情報をつなぎ会津を、そして猪苗代を元気にする道の駅」を掲げ、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能、防災機能や集客機能を導入することとしている。今後、各種業務委託・調査を実施し、目標としては平成27年度のオープンを目指している。

事業費（総額）の見通しは、規模、内容が定まっていらないので総事業費は算定できない。喜多方建設事務所、県庁などとこれから具体的な協議に入る。できるだけ町の負担を少なくし、県の方から多く負担する形で検討したい。規模は、優良農用地の転用許可などの関係で3haほどを考えている。廻谷地、相名目、蜂屋敷、入江の区長には説明を行い協力をお願いしたが、

意見

既存の道の駅を参考にすることは必要であるが、山と湖の間に設置する猪苗代独自の景観と地域性を活かすことが必要である。採算性は重要であるが情報発信機能を十分に発揮して、また、県の中心部に位置する十字路口として、会津の玄関口、山形県、新潟県への道しるべとしての大きな役割があると思う。

町民からの様々なアイデアを活かせるような道の駅を、町民をあげて設置、継続できるよう整備することが大切である。猪苗代独自の、猪苗代にあった道の駅をつくっていただきたい。

町内小学校の実態調査について

【翁島小学校】 施設の問題として、廊下の汚れ、水道の凍結、体育館の壁の亀裂、非常階段の問題、物置の古さからの諸問題。施設外の問題として、車で送迎しているので体力が落ちている。図書の充足率が低い。図書室のスペースが足りない。

【千里小学校】 3階の避難経路として図書室を通るのは問題。スムーズに避難できる方策をとる必要がある。不登校気味な子はいるが、大きないじめはない。緊急時に使用するため、校内にある全ての電話を活用して緊急放送をすることができる。

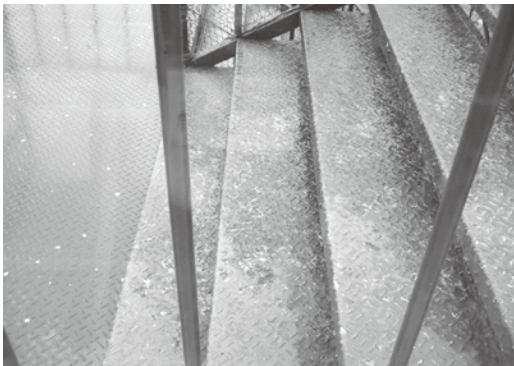
意見

各校の問題点を町は早急に改善すべき。良き点は各校に活かすべき。

各小学校の実態調査を実施した。
【猪苗代小学校】 いじめや不登校は現在ないが、いつでも起こりうるものと捉え全職員であたっていくたい。地域の方々が学校に対して協力的である。今年度の重点目標は、学力向上、豊かな心の育成、体力づくりの3点である。施設関係は特に問題はない。
【吾妻小学校】 地域の特性を生かし、中学校、幼稚園との連携をとっている。地域との連携として子ども見守り隊がある。ノーメディアデーを設けている。課題として、児童クラブの管理の問題、除染の問題がある。
【長瀬小学校】 課題として、蔵書不足の問題、通学時の事故防止のための横断歩道の設置。体育館のトイレの早急な改善。屋上の落雪による事故防止方策。マーチングの予算の問題。
【緑小学校】 児童が素直で落ち着いている。大きなけがや事故はなく、地域の方々も協力的である。今後「あいさつ」を伝統としていきたい。



改善が望まれる
長瀬小体育館トイレ



改善が望まれる
翁島小非常階段

総務常任委員会

普通財産の実態調査・平成24年度町税の課税状況について

普通財産とは

普通財産には、消防屯所や集会場、旧連絡所や旧保育所、警察署長・警察職員公舎、駐在所等の関係施設等36件である。貸付金額4,261,331円であるが、6件は理由があり無償で貸し付けている。

また、マックアースのスキー場や、ジャンプ台等貸付金額1,416,656円。リゾートスキー場、ミネロスキー場等貸付金額805,572円。

この内建物付の財産は、旧分庁舎、六角合同センター、旧旧役場のプレハブの3件で、貸付金額2件で411,421円。

旧町立病院について、改修工事を行い普通財産に移管し、旧消防署の各種団体を受け入れたい。

平成24年度町税の課税状況

（本年度予算額、調定見込み額、徴収率見込みの順に記載）

- 1) 町県民税個人分 432,715千円、441,546千円、98.0%
- 2) 町県民税法人分 76,942千円、78,194千円、98.4%
- 3) 固定資産税 1,009,165千円、1,121,295千円、90.0%
- 4) 固有資材等所在市町村交付金及び納付金 8,342千円、8,342千円、100.0%
- 5) 軽自動車税 33,750千円、34,496千円、97.84%
- 6) 町たばこ税 110,443千円、110,443千円、100.0%
- 7) 入湯税 19,151千円、19,345千円、99.0%

意見

普通財産の中には、見直しや調査検討が必要な物件もあり、有効利用を図る上でも整備をされ、行政財産へ移管して活用すべきであり、不要な物件については、民間に払い下げする等充実した管理を望む。

このような社会経済情勢の中であって、町税の減収や徴収率の低下が懸念され、特に土地の路線価に示されるように約90%の土地が下落しており、固定資産税にも影響を及ぼしかねない状況であることから、未収額や滞納金を発生させないよう収納に努力をされ、行財政の健全化に努めて頂きたい。

町民の声



翁島地区
高橋 謙一 さん

猪苗代を想う

ジリジリと照る太陽、澄んだ空にそびえたつ磐梯山、今年も猪苗代に夏がやってきました。

東日本大震災、原発事故から一年半、一見道路や下水道その他の問題も回復し、復興に向け大きく前進している様に見えます。

しかし、原発による風評被害、人口減少とまだまだ不安は尽きません。

そんな中、私は小学校の運動会で元気いっぱいグラウンドを走る子ども達を見させて頂く機会が

あり、感じたことがあります。子ども達は皆イキイキとし、目に生きる「力」を感じました。未来ある彼らに、明るく豊かなこれからを残していくかなければならない、そう強く感じました。

猪苗代には豊かな自然があり、それにより育まれた農業、観光事業があります。磐梯山がジオパークに認定された事や、来年の大河ドラマで会津が舞台になる事等、上手にメディアを活用する事は、四季豊かな猪苗代をアピールするチャンスです。

そして、そこから積極的な観光振興を図っていく事が、活気ある町づくりにつながっていくのだと思います。

子ども達にとって、希望ある未来を残すため、今積極的に「安全な町、緑豊かな猪苗代」を外に向け発信していく事が大切だと強く感じています。

町村議会広報研修会



7月2日にホテル福島グリーンパレスにおいて開催され、議会広報編集特別委員が参加しました。

講師に、城市創氏をむかえ、「議会だよりの編集のポイント」について研修いたしました。

傍聴においで下さい

**9月議会は
9月3日(月曜日)
開会予定です。**

【一般質問は6日(木)・7日(金)】

※質問者・質問内容については9月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ

編集後記

経済の低迷による社会不安が増大し、無気力感が社会を覆っていた時、東日本大震災、原発事故、放射能による風評被害等の問題に突然襲われ、私達の生活は一瞬にして身を委ねる所を失うという大きな変化に直面しました。

国民全てが国の政策に関心を持ち、これからの自分達の生活を守るべく、自ら考え議論し、将来に向けた展望を模索し始めました。

道の駅、全天候型陸上競技場、子ども園が私達の確かな一歩になるように、皆さんの関心と意見を凝縮してまいります。

金 本 久美子

議会広報編集特別委員会

委員長	渡部 博幸
副委員長	金本 久美子
委員	佐瀬 真
委員	細貝 功人
委員	佐藤 悦夫
委員	佐藤 英一郎
委員	長澤 操
議長	鈴木 武喜